

QRコードをスマートフォンやタブレットで読み取ると、各議員の一般質問の動画が視聴できます。

共に創る掛川
鈴木久裕



久保田市長の市政運営における生涯学習都市宣言のあり方は

Q 生涯学習都市宣言第一節と報道運動の基本的考え方の一つである「至誠・勤労・分度・推譲」この親和性について、市長はどのように解釈しているか。

A 「至誠・勤労・分度・推譲」については、真心をもって勤勉に生きることにより、社会、地域、周りの人たちなど、あらゆる方面に感謝の心を表していくことと理解しています。また、生涯学習都市宣言は、一生を通して、お互いが何をすべきかを学び続けるよう求めています。このことから、報道運動と生涯学習都市宣言は、ともに自らの生き方の意義や、地域や社会への関わりや貢献の必要性を説いており、この点に

おいて、特に親和性が高いと考えています。

Q 生涯学習都市宣言を、市政運営の中でどのように位置づけていくつもりなのか。

A 生涯学習運動は、様々な活動を通して学び続けることにより、人生を豊かにし、さらには、地域愛や市民力の向上にも繋がるものです。今後も掛川市の「人づくり」「まちづくり」に、その考えをしつかりと生かしていきたいです。



【その他の質問事項】

- ・協働のまちづくりについて
- ・予算・決算時において市の仕事を成果指標で審査等できる仕組みの確立について

日本共産党
議員団
大井 正



コロナ対策で集積される個人情報などが国等へ漏洩しないか

Q 低所得家庭やひとり親世帯に子ども一人当たり5万円給付する事業に付随して、多額のシステム改修費とデータ入力業務委託料が国庫から支出されている。国主導の国民監視システムではないか。

A システムは、低所得の子育て世帯に対し、迅速かつ適切に支給を行うことを目的としたものであり、構築及び運用にあたっては、掛川市情報セキュリティポリシーを遵守し、個人情報情報を適切に取り扱います。また、支給事務終了後にはデータを消去した上で、サーバも撤去し、再利用も行わないため、他の目的に使用される心配はありません。

原発の是非と浜岡原発の再稼働をどう考えるか

Q 予想される東海地震の震源地に立地し、福島原発と同じ危険を内包する浜岡原発は廃炉にすべきと考えるが、市長の考えはどうか。

A 新規制基準に基づき、国の適合性審査が継続中であり、再稼働については、万全の安全対策が完了し、将来にわたり安全・安心が確保され、国と中部電力が市民に対し、しっかりと説明した上で、市民の理解が得られなければ、再稼働はできないと考えています。

